



つながり



「青少年健全育成の集い～地域の教育で未来を変える～」が開催されました。

6月19日(土)南予地方局を配信会場として、「青少年健全育成の集い～地域の教育で未来を変える～」を実施しました。南予9市町(全20カ所)約40名がオンラインでつながり研修を行いました。



講演 「双海地区公民館のこども教室の取組と課題」 伊予市双海地区公民館

様々な団体が連携し、20年以上続いている「こども教室」の取組について紹介していただきました。双海地区では、小学生の時「こども教室」を経験した子どもたちが、中学生、高校生となり「ジュニアリーダー」として「こども教室」を企画する立場で活躍していました。



【配信会場の様子】

20年続くための工夫として、

- ①関係団体との細やかな連携、②子ども(参加者)の意見を尊重する、
- ③子どもに意欲を持たせる柔軟な対応、④歴代の担当者の活動への思い

があると話されたことが心に残りました。

事例提供 「かけよう 愛のひと声、かわそう あいさつ」 西予市魚成愛護班連絡協議会事務局

この題名は魚成地区の愛護班のキャッチフレーズだそうです。活動の様子をたくさんのスライドで紹介していただきました。大人と子どもが楽しそうに関わり合う姿が見られ、「子どもたちは地域の未来を担っていく宝」という思いがよく伝わってきました。地域づくり協議会とも連携し、地域の一員として子どもたちにも地域づくりに関わってもらい、地域を知り、愛着をもってもらいたいと様々な企画を実施されていました。また、質疑の中で、コミュニティ・スクールの取組がはじまり、愛護班としてどのように学校と関わっていくべきかという新たな課題も提示されました。



【研修画面の様子】

グループ協議・情報交換

参加者それぞれの立場から青少年健全育成についての思い、自分たちにできることについて話し合いました。協議の中で「子どもたちには、挨拶ができ、地域に誇りを持ち貢献できる大人に育ててほしい。そのために、大人が、地域行事に参加したり、新しい健全育成の活動を作ったりしていきたい。地域、公民館、学校、行政が協力することでこれからの子どもたちを育てていきたい。」という意見が出されました。

最後に、愛媛県愛護班連絡協議会の石黒会長から「人と人とのコミュニケーションの中で子どもを育てていくことが大切。子ども時代の経験が、大人になったときに次の世代に伝えたいことになっていく。愛護班として、地域を巻き込んだ横に広がる活動をしていきたい。」と感想をいただきました。

事後アンケートからも様々なご意見・ご感想をいただきました。

人口減少や担い手の高齢化など各市町で抱える問題は同じということはあるので、その中での事業案を考案していくことの難しさや考え方という点で参考になった。

学校では、運営協議会を実施する中で、地域学校協働活動を活性化していきたいですが、そのヒントがたくさんありました。

各種団体の連携及び子どもたち当事者をも運営にかかわることの意義を考えさせられました。すべては子どもたちのために。今できることをせねばと勇気をもらいました。